

歯科医師石櫻会会報

創刊号

発行 ■ 歯科医師石櫻会事務局 〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70 くまがい歯科クリニック内 TEL / FAX: 019-632-1188 題字: 横澤 昭平



歯科医師石櫻会会報の創刊号によせて

歯科医師石櫻会
会長 横澤 昭平

平成19年6月の総会にて会長に就任いたしましたが、幹事長ならびに役員各位の抜群のチームワークで、歯科医師石櫻会事業の充実のみならず新規事業への積極的な取り組みが行われております。

物故会員を含めて100名を超える本会会員名簿の確認作業にあたっては、各幹事に割り振りしてその作業に当たりました。個人情報保護の問題に直面するなどしたためかなり難航しましたが、先日何とか皆様のお手元にお届けできる運びとなりました。

学術講演会をより充実させて一人でも多くの会員の参加を促そうと講師の選任にあたっては、会員から一名と外部講師一名を厳選し、直ぐにでも臨床に役に立つような興味深い内容となるよう毎回配慮がなされています。

また、平成19年度には新規事業として学術講演会をDVDに収録して会員に配布する試みがなされ、中学・高校の同窓の講演会ならではの、うち解けた雰囲気が動画を通して伝わったことと思います。

さらに、会員との情報交換のために講演会や総会などの報告と記録をかねた会報が制作されてこの度創刊の運びとなりました。

この会報を通じて新入会員の紹介や会員相互の情報交換を図り、会員各位のアイデアも取り入れて会報を充実させて行きたいと考えております。今後ともご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

掲載内容

- ・卷頭言
- ・平成20年度総会報告
- ・平成20年度講演会報告
講演1(新24回生)
村田 昌明 先生
- 講演2(岩手医大第2保存学教授)
國松 和司 先生
- ・参加者の紹介
- ・石櫻トピックス
- ・役員名簿
- ・幹事会記録
- ・事務局からのお知らせ
- ・編集後記

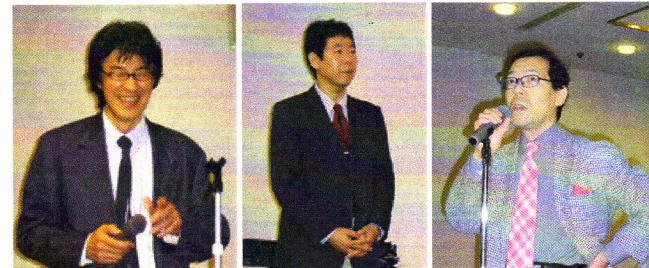


平成20年度総会報告

平成20年7月13日(土) ホテル・ニューカリーナ2階において、講演会(講演後抄録次頁別掲)終了後に平成20年度歯科医師石櫻会総会が26名の会員出席のもと開催された。小山田榮二幹事長が司会を務め、伊保内利一副会長より開会の辞が述べられた。横澤昭平会長の挨拶の後、総会は赤坂俊彦会員が議長に選出され議事が進行した。はじめに、小山田幹事長より平成19年度の会務報告が、村上修会計幹事より会計報告がなされ、桂啓文監事より会務・会計内容が適切である旨の報告があった。つづいて、平成20年度の事業計画等について審議され、原案通り可決承認された。また、会員名簿の年度内発行についても可決承認された。総会は田中健一副会長の閉会の辞で閉会した。

平成20年度講演会報告

今年度から外部講師も招いての講演会となり、今回は岩手医大の國松教授。最新の歯周療法を判りやすく講演下さった。同窓の村田先生は長期症例を示しながら問題点を提起。ご自身開発の歯科領収書ソフトも楽しく紹介された。小松先生から國松教授を唸らせる鋭い質問もあり、内容の濃い1時間半の講演会であった。



講演1

「卒後三十年の臨床を振り返る」 - 長期経過症例から見えてくるもの -

村田 昌明 先生 (新24回生) 野田村開業



今回は20年から26年の長期経過例を発表させて頂きました。毎日の臨床はそれなりにベストを尽くして行っているつもりですが、ひとりの患者さんの症例を経年的にみた時にはいろいろな問題点が生じてきます。

私達はともすれば、状態が悪くなったのは「患者さん自身の管理の甘さ」ということで説明しがちになります。しかし、その中には我々サイドの見通しの甘さに原因がある場合も多くあるように感じますが、皆さんはどのように思われますか。また、今回の症例をまとめてみてもそのような点を強く感じ、私自身の臨床での反省材料がいろいろと見つかって、このような場をあたえてくれた中野先生に感謝しております。私は講演の中でもふれましたが、我々の臨床レベルを大きく左右するのはスタッフの力量が大きく関わってくると感じております。そしてまた、その力量のレベルアップも我々の能力のひとつであると考えると、本当に我々が身につけなければならぬ分野は広く深いものであるし、その事を毎日の臨床では痛切に感じざるをえません。

最近の歯科講習会での話で恐縮ですが、都内で開業する若い歯科医が次のような事を話していました。「今は歯科の情報はすでに出尽くしたように思う。インプラントも含めて多くの医院では同じようなことをやっているから、なんで差別化をすればいいのかわからなくなってきた。」・・・というような話でした。

その話はもちろんうなずける部分は感じます、しかし、逆に否定の気持ちを強く持つ部分もあります。まあ、ここでの本題ではないのでおいておきますが、いずれ我々は医院の中で、いかに長期に通院してもらえるかということが、これからのお医療では重要な部分をしめていると思っています。

ですから、今回は拙い症例ではありましたが自分の長期症例をあげて、いろいろ考察して見ました。そして、今回の私の症例の中に、皆さんにとって臨床のヒントになることが一つでもあれば幸いに思います。

(講師自抄)

参加者のご紹介



後列左から：高橋賢司、角田克保、波紫修一、中野廣一、田口 淳、佐々木正博、赤坂俊彦、武田秀雄

中列左から：柳澤 泰、村田昌明、志和宏俊、野館孝之、中村行寿、八重樫良昌、関克典、亀田幸宏、小山田栄二、村上 修

前列左から：山田康平、桂 啓文、伊保内利一、國松和司先生、横澤昭平、田中健一、小松先生奥様、小松世潮（敬称略）



講演2

「歯周治療の勘どころ」

國松 和司 先生

岩手医科大学歯学部保存学第二講座 教授



國松先生のご講演は「歯周治療の勘どころ」というタイトルで、1) 歯周診査のポイント、2) 治療戦略の考え方、3) 臨床例にみる治療法、4) 新しい歯周再生療法の4点に分けてのご講演でした。

最初の1)「歯周診査のポイント」は、普段我々が行っているポケットプローピング測定の問題点について、プローピング時の歯肉からの出血の意味について、根分歧部病変診査の注意点についてなど、翌日からの診療にすぐに活用できる基礎的ではあるが重要な内容でした。

続いての2)の「治療戦略の考え方」については、う蝕とは異なり歯周病という複数の原因が複雑に絡み合って引き起こされる疾患に対して、その2大特性である部位特異性、周期性について、治療目標は炎症の除去および咬合の安定・回復を同時に行う必要性について、また治療の妨げとなる細菌因子、宿主因子、環境因子の3つのリスクファクターについてどう取り組んでゆくかなどの幅広い総論的な話から、症例を分析する際に考えておくべきこととして、主訴、患者サイドの要求、術者側がどれだけのことをしてあげられるのか、治療後の結果予測ができるなどについての日常臨床で必要で具体的な説明をされ、診査と分析の重要性について特に重点を置いて話されました。

3)の「臨床例にみる治療法」についてのお話は時間の関係もあり1症例のみ提示されました。先生の一番思い出深い、重度の歯周炎に罹患されていた方の治療について、細かい治療経過を説明しながら、どのように患者さんとの信頼関係を築いていったかの過程も交え、どういったことを注意しながら治療を進めていったら良いかについて具体的にお話されました。

最後に、4)「新しい歯周再生療法」(塩基性線維芽細胞増殖因子(bFGF)を用いた歯周組織再生療法)について話されました。近年、歯根膜組織の中に骨芽細胞やセメント芽細胞へ分化することができる間葉系幹細胞が成人になっても存在することが明確になり、bFGF(サイトカインの一種)でこの細胞を刺激することにより(a)、従来の歯周治療では不可能と考えられてきた真の歯周組織の再生が可能となりました。(b)はビーグル犬の実験結果ですが、歯周組織欠損部にbFGFを填塞すると6週後には新生歯槽骨、新生歯根膜、新生セメント質が観察されました。実際の臨床でも、bFGFの填塞により歯周組織再生が誘導、促進されることが確認されています(c),(d)。

現在、岩手医大でも臨床治験が進んでおり、近い将来、臨床適用が可能になる。夢の治療薬にご期待下さいとの内容でした。

(文責:亀田幸宏)

サイトカイン



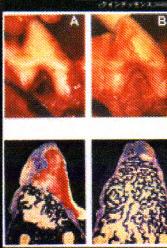
(a)

ビーグル犬を用いた実験

2級根分歧部病変作製
-骨欠損作製(垂直4mm、水平3mm)
-骨欠損部にリココンパクスを挿入し、
4%放血
-リエントリー後、薬剤投与
(0.1% bFGF)

bFGF (FGF-2)

6週後 (サイトカインA, 300ng)

A
B対照群
実験群

(b)

オペ前

1年半後

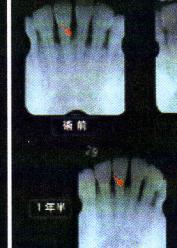
オペ前



1年半後

(c)

2年



36W

48W

1年半

2年2ヶ月

(d)

おか

2009年3月15日号(No.1261)



大公 最年少記録
粘り強く局面読み切りでアマ王優勝
中川慧梧
岩手高二年

石櫻トピックス

盛岡市で発行する「広報もりおか」の2009年3月15日号の表紙ページに岩手高校1年生の中川慧梧(なかがわ・けいご)君の写真が大きく掲載された。全国から強豪が集まり、しのぎを削る全国アマチュア王将位大会(第二十五期大会:昨年11月29、30日:於東京都将棋会館)で、史上最年少となる16歳で優勝するという大快挙を成し遂げた。

役員名簿

(任期:平成19年4月1日~平成21年3月31日)

会長 横澤昭平

副会長 伊保内利一, 田中健一

幹事長 小山田榮二

幹事

学術 中野廣一, 柳澤 泰

会計 村上 修, 赤坂俊彦

庶務 亀田幸宏, 熊谷哲也, 波紫修一

地区 伊保内利一, 道又 元

学内 大久保卓也

顧問 岡田宗二

監事 桂 啓文, 山田康平 (敬称略)

幹事会記録 (抜粋)

平成20年度第1回幹事会

日 時：平成20年5月15日（木）[於：菜園ながさわ]
出席者：横澤昭平会長、田中健一副会長、小山田榮二幹事長、
中野廣一、村上修、赤坂俊彦、柳澤泰、亀田幸宏、熊谷哲也、波紫修一の各幹事（敬称略）

1) 報告事項

(1) 小山田幹事長より昨年度の事業報告：平成19年5月17日幹事会▼7月13日役員会、総会、講演会▼講演会DVDの会員への発送、会費自動振込み用紙の発送▼平成20年1月12日幹事会：3月県外会員に歯科医師石櫻会案内と振込み用紙の発送

(2) 村上会計担当幹事より平成19年度の会計報告：

<収入> 収入合計 378,000円（内訳：当日会費 6,000 × 28=168,000、当日年会費 5,000 × 10=50,000、振替入金 5,000 × 18=90,000、振込入金 5,000 × 14=70,000）

<支出> 支出合計 392,066円（内訳：総会費 241,080、講師謝礼 60,000（30,000 × 2名）、総会資料代 48,604、総会後資料代 15,988、同切手代 800、お悔やみ代 5,000（桂先生奥様）10,000（金子康雄元会長）、銀行引去手数料 9,387、雑費 1,207）

<収支> 378,000円 - 392,066円 = △14,066円

(3) 波紫幹事より名簿の作成状況報告

2) 審議事項

(1) 会場について

・ニューカリーナにて例年同様に総会、講演会、懇親会を行う。

(2) 講演会について

・国松和司先生（世話役：柳澤幹事）と村田昌明先生

・案内の発送を2回行う：1回目；締切りを早めて全員に：2回目；返信のない会員のみに締め切りを7月7日とする。

(3) 来年度の講演会の講師について

・原田英光先生（岩手医大）と岡村悟先生（新26回生）

(4) 講演会、懇親会参加費について

・参加費を6,000円から7,000円に引き上げることに決定した。

（文責：熊谷哲也）

平成20年度第2回幹事会

日 時：平成21年1月17日（土）[於：菜園ながさわ]
出席者：横澤昭平会長、伊保内利一、田中健一の両副会長、
小山田榮二幹事長、中野廣一、村上修、柳澤泰、
亀田幸宏、熊谷哲也の各幹事泰、山田康平監事（敬称略）

1) 報告事項

(1) 小山田幹事長より事業報告：平成20年5月26日；総会案内、年会費自動引落制度のお願い、平成20年度総会決定事項報告（役員任期、会名称、岩手県内の会員に限定しない事）の発送▼7月12日；役員会、総会、学術講演会（講師：國松和司先生、村田昌明先生（新24回生））（参加者数26名、前年は30名）、講演会DVDの会員への発送

(2) 会員名簿については、波紫幹事が急病欠席のため報告なし

(3) 村上会計担当幹事より平成20年度の会計中間報告：

<収入> 収入合計 447,216円（内訳：当日会費 7,000 × 26=182,000、当日年会費 5,000 × 10=50,000、振込年会費 5,000 × 12=60,000、自動振替年会費 5,000 × 31=155,000、利息 216）

<支出> 支出合計 303,220円（内訳：総会費 196,420、講師謝礼 50,000、銀行引去手数料 7,318、資料作成費 44,202、送料 5,280）

<収支> 447,216円 - 303,220円 = 143,996円

◇ [年会費納入方法の推移（人数）]

H19年 H20年

銀行振込	19	11
自動振替	18	31
当日納入	10	10
合 計	47	52

2) 審議事項

(1) 会員名簿発行について

発行時期：今年度内

(2) 平成21年度総会（会場：ホテルニューカリーナ）

日時：平成21年6月20日（木）18:00～19:30 講演会／

19:30～20:00 総会・役員選挙／20:00～21:30 懇親会

講演会講師：岡村悟先生（新26回生）、原田英光先生（岩手医大）

講師予定：H22年；塩山司先生、徳富亘先生

H23年；寺田林太郎先生、田中健一先生

講演案内：3月；名簿と一緒に案内発送、4月；講演会案内発送、5月；抄録発送

(3) 役員改選について

・4月：役員改選、会長選公募案内の発送

・選挙は会長選のみとする。

（文責：熊谷哲也）

事務局からのお知らせ

会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込みをお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も簡素化されますので、可能でしたらお手続きを宜しくお願ひいたします。

■「銀行振込み口座」

東北銀行 大通り支店

（普通）3162801 岩手県歯科医師石櫻会 会計 村上修

■「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先

〒020-0021 盛岡市中央通2-7-11

歯科医師石櫻会 会計 村上修宛

TEL / FAX : 019-651-7090

みなさまの声をお寄せ下さい

本会についてのご意見・ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中・高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせ下さい。

歯科医師石櫻会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL / FAX : 019-632-1188

E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

この度歯科医師石櫻会会報を創刊できるはこびとなりました。これもひとえに執筆依頼などの求めに快く応じて下さった会員の皆様のご協力の賜と心から感謝申し上げます◆岩手高校の囲碁将棋部は今や東北のみならず全国大会の賞を総なめにする程の強豪校。全国アマチュア王将位大会で史上最年少優勝を果した中川君も岩高の同部に憧れて八戸市から越境入学。ハイレベルな同輩先輩に磨かれての快挙だといいます。何とも誇らしい後輩達ではありませんか。石櫻に新しい伝統が芽吹いたようですね◆今年の講演会は、インプラントの泰斗である小宮山先生に長く師事された岡村悟先生（新26回）と次世代の歯科医療「歯の再生医療」の日本のリーダー的存在、原田英光教授（岩手医大）のご講演です◆多数のご参加をお願いいたします。

（中野廣一記）